

生きる力を豊かにたくましく



あいほうぷだより

中村悠翔の所外活動報告

NO. 264 責任者
青山 茂次郎

はじめまして、宇宙班の中村悠翔です。私たちは、11/5(火)に所外活動でニフレルまで行ってきました。私にとっては、あいほうぷで初めての所外活動です。

まずは、フードコートでの食事です。オムライス



美味しいオムライスでニンマリ

した。その後に行った、水族館では、沢山のあまり見た事がない

魚を観ることができました。そして、一番印象に残っているのは、その後に行った動物のコーナーで観た、ホワイトタイガーです。体が大きく、いかつい感じで、迫力がありました。ただ、あまり動かなかったので、迫力のある動きも観たかったです。



知らない魚が沢山いました

みなさんもぜひ迫力があるホワイトタイガーを見に行かれてはいかがでしょうか。

ミニコンサート開催

♪ 11月4日の祝日(文化の日の振替休日)に、藤白台地区福祉委員の皆さんによるギターとバイオリンのミニコンサートを開催していただきました。プロ顔負けのギターでの弾き語り

とバイオリンの演奏は、文化の日らしく音楽を楽しませていただきました。祝日の開所日だったので、利用者や職員は少なく、少人数で贅沢に心地よい音楽を堪能しました。バイオリンの松浦さんはアメージンググレース等、みんなの良く知るクラシック音楽を披露してください、ギターで弾き語りをしてくださった岩田さんは「翼をください」やPOPミュージック等のみんなのよく知っている曲の弾き語りをしてくださいました。

藤白台自治会は施設が隣接した地域で、日頃から色々お世話になっています。これからも、利用者の皆さんと共に、していただくばかりでなく、地域活動に貢献していきたいと思ひます。この度は、本当にありがとうございました。



バイオリンを弾いて下さった松浦さん(上)とギターの岩田さん(下)





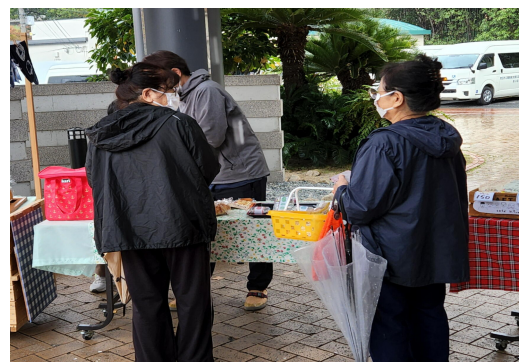
雨のあおぞら市?

はじめての土曜日開催となったあおぞら市。澄み渡る様なあおぞらの下で開催! だったはずですが、スタート時はあいにくの曇り空。今回は、あいほうぶ吹田の利用者が作った製品、をはじめ、グーチョコパン屋さんの天然酵母・国産小麦のパンに加えて、わらび餅や炭酸せんべい、マドレーヌ、そしてクッキー、や雑貨など他の障害者施設でつくった製品も並び、お祭りの定番「おもちゃつり」もあるなど、いつもより賑やかな品揃えとなりました。

天気が悪く、客足が心配でしたが、そんな心配をよそに多くのお客さんに商品を買っていただき、あおぞら市を楽しんでいただくことができました。また、クリスマスも近づいているということで、サマー班の新品「ティディバーストーン」も大変好評でした。

館内にある喫茶店にも多くのお客さんに来ていただき、あいほうぶ吹田のことをはじめて知ったという地域の方たちともお話でき、とても楽しい時間となりました。途中から大雨のあおぞら市となってしまいましたが、そんな中でもあおぞら市に来ていただいた方、今回は来れなかったけれど、開催を気にしていただいた方、ありがとうございました。この様にして、少しずつ地域とつながることができればという思いです。

次回の開催もお楽しみに。それまで、皆さんに喜んでもらえるように、各班で製品づくりを頑張っていきたいと思います。



吹田第二中学校 職業体験



～「将来のことはわからない…でも少し知りたい」



11月12日と13日の2日間、吹田第二中学から職業体験として、3名の生徒さんが来られました。仕事を体験していただくことを目的に来ていただきましたが、考えはそれぞれ。福祉の仕事に興味

がある人から、「将来の事はわからないが、少し障がい者の方について知りたかった」と言う方もいました。

3名とも大変礼儀正しく、利用者の皆さんと接していただき、スタッフが勉強になるほどでした。

感想では「純粋に楽しかった」と言ってくれたり、「改めて人権のことを考えることができた」と大人顔負けの感想を言ってくれたりもしました。

みなさんの将来の礎に少しでもなれればと思います。



小高さんと一緒に考えよう

もうすぐ、色々な人が楽しみにしているクリスマスです。しかし、世界の各地で戦火に脅かされている人が沢山いる事を考えると、「平和」の事を考えずにはいられないとの事です。



SDGsの前文には「我々は、恐怖及び暴力から自由であり、平和的、公正かつ包摂的な社会を育てていく事を決意する平和なくしては持続可能な開発はありえず、持続可能な開発なくして平和もあり得ない。」と書かれています。

目標16に「平和と公正を全ての人に」と掲げられていますが、その中にある12のターゲットの中には「暴力」という文言はあるものの、「戦争」という2文字はありません。2015年に国連サミツ

トで採択された時には、誰もが再び戦争が起きるとは思っていなかったのかもしれませんが。現在の国連そのものが、第2次世界大戦の反省からできた組織です。その意味では、SDGs以前に、国連そのもののあり方が問われるものです。

11月19日でロシアによるウクライナへの全面侵攻は1000日目を迎えたようです。トルク国連人権高等弁務官は11月18日の時点で、少なくとも子ども659人を含む民間人1万2162人が亡くなり、2万6919人が怪我を負ったと指摘しました。11月はイスラエルとイスラム組織ハマスの戦闘が始まって、1年になる月でもあります。11月7日にハマスが発表した声明では1年間で4万人以上がイスラエル軍によって殺害されたと主張しました。

このような状況に小高さんは「みんなが心から楽しめるクリスマスはいつ来るのか」という思いでいっぱいだそうです。

きょうされん第47回全国大会 in 滋賀

毎年恒例の、「きょうされん全国大会」に今年もあいほうぶから利用者1名と、職員3名が参加してきました。全国各地から障害のある方900名を含む2500名が滋賀県に集いました。大会テーマは、「創ろうみんなであたりまえの未来を～発達保障と障害者権利条約を、びわ湖の地から～」です。

開会式の中では、能登半島地震、豪雨の際の支援での困りごと、復旧・復興への課題の報告もあり、いつどこで起こるか分からない災害に、

みなさんが自分事として参加されているのが印象的でした。

2日目は、14の分科会の分かれて、日々

の実践・経営・運動や地域づくり制度政策など、多岐にわたるテーマで交流を深めました。参加された山崎さんは、その中から「利用者交流」を選ばれ、じゃんけん大会のゲーム、凧作りを通しての交流で、仲間の輪を広げる事ができました。インタビューを受ける場面もあり、自分の気持ちを外へと発信する機会ともなりました。滋賀県内の各作業所からの授産品販売もあり、買い物を楽しみました。

全国各地からたくさんの方が集まるこの大会は、横との繋がりが広げたり、情報交換などの大切な機会となりました。今後の活動の躍進に期待です。



セレモニーの様子



インタビューに受け答える山崎さん

プール・介助浴室を開放しています

土曜日、日曜日にあいほう吹田の温水プールと介助浴室を開放しています。プールや入浴は、リハビリにも効果的です。ぜひご利用ください。

利用できる方 ・吹田市内にお住まいの障がい者手帳をお持ちの18歳以上の方とその介助者。プールは18歳未満の方も利用できますが、18歳以上の介助者の同伴が必要です。

利用時間 ・10時から16時まで

注意事項 **プール利用について**

- ・混雑を避ける為に定員を設けています。
- ・スイミングキャップが必要です。
- ・受付で障がい者手帳を提示し、手続きをしてください。
- ・観覧者はマスクをして、廊下からご覧ください。
- ・採暖室と更衣室(シャワー室を含む)の利用は原則1組に限ります。



介助浴室利用について

- ・介助浴室の利用は、予約制で、原則前日の17時までです。
 - ・原則1時間に1組。
- *ボディソープ、シャンプーはご持参ください。

多目的ホール・会議室が利用できます

(土日9時～17時)

障がい者団体あるいはその支援団体、ボランティア団体などの活動の場、交流の場として利用できます。(事前登録が必要)

今月号に掲載させて頂いた、「きょうされん全国大会」に、私も参加し、フィリピンのデラサール大学からろう者の助教、英語と手話を話される外部連携センター長らのレポートを聞く機会となりました。手話を聞き取り、それを英語に訳して、それを通訳の方が日本語に訳すと言った、普段では経験できないコミュニケーションの取り方はとても印象深かったです。

報告の中で、「デフ(ろう者)・ゲイン(得る)」という造語を教えてくださいました。意味は、聴こえないことから、得られるものがあると言った、とても前向きな言葉です。自分の持った能力を最大限に活かそうとする素敵な言葉です。自分に照らし合わせたものです。



吹田市立障害者支援交流センター あいほうぶ吹田

(吹田市指定管理者 社会福祉法人 さつき福祉会)

吹田市千里万博公園12-27

生活介護事業 06-6816-6895 短期入所事業 06-6816-6897

メール i-staff@s5.dion.ne.jp ファックス 06-6816-6898

ホームページ <http://satuki-fuku.sakura.ne.jp/ihope/index.htm>